

LOVE

愛に満ちた利他の精神で愛が溢れる未来へ



愛に満ちた利他の精神で愛が溢れる未来へ

【特集】

- ・OB交流ボウリング大会 7/10
- ・サマーコンファレンス2021 7/17・18
- ・7月例会・通常総会 7/21
- ・佐賀ブロックゴルフコンペ 7/25
- ・会員会議所会議 in 唐津 7/26
- ・祝!!!育LOM認定
- ・ゆめのかたちアーカイブ
- ・姉妹締結50周年特集

OB交流ボウリング大会・懇親会

～2021年7月10日(土)～

ファズボウリングセンターにて新型コロナウイルス対策をしっかりと行ったOB交流事業が執り行われました。当日は多くのOB会員の皆様ご参加、また、多くの協賛をいただきまして誠にありがとうございました。

そここでやる競技といえばもちろん、ボウリング。現役会員とOB会員が入り混じってのチーム編成を行って勝負。各レーンとても賑わいをみせていました。ストライク、ナイスという言葉はなかなか上らず、いいね！全倒しなど、英語使用禁止の言えば減点の特別ルールでぞこちない感じのボウリングではありましたが、皆さんとても楽しんでおられる様子で、日頃のストレスも発散しているようでした。いい汗をかいた後は、いいお酒！DHC唐津シーサイドホテルプールサイドにてバーベキュー懇親会も行われ、こちらも多くのご参加ありがとうございました。会員拡大の聞き取り調査や、OB会員皆様の経験談など現役会員が学ぶ機会を得ることができました。今後も会員、OB会員の皆様と交流の場を設け、親睦を深めていきたいと思っております。



サマーコンファレンス2021

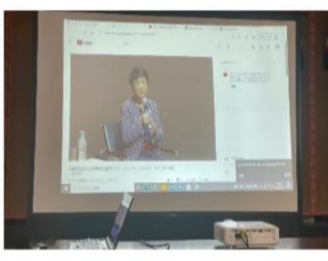
～2021年7月17日(土)・18日(日)～

愛に満ちた利他の精神で愛が溢れる未来へ



サマーコンファレンス2021が本年はハイブリッド開催と様式を変え横浜の地にて開催されました。唐津青年会議所としても現地にて参加を希望しておりましたが、新型コロナウイルス感染症に伴う緊急事態宣言が直前に出されたことにより、残念ながら唐津の地での参加となりました。日本青年会議所安全保障確立委員会副委員長として吉井大樹君、フォロワーに勝山桂多君、栗原英作君、坂本慎平君、玉置大輔君、玉置奈実子君、成富康裕君、宮丸圭祐君。日本青年会議所極東アジアアライアンス構築委員会フォロワー、山口祥平君と唐津から多くのメンバーが出向しており、急遽、彰敬館にパブリックビューイングを開設。唐津の地から応援する事が出来ました。

また、ハイブリッドの特性を生かし、気軽に多くのセミナーを見る事ができ学びを得ることができました。



7月例会・通常総会

～2021年7月21日(水)～



熊本丸が帆をあげ、出港して早くも7カ月が経ちました。年当初から新型コロナウイルスという未知の脅威という逆風を受けながらも、昨年、荒波にもまれた経験を糧に様々な様式に取り組みwithコロナを念頭に熊本船長の指揮のもと総勢78名の乗組員が試行錯誤を続け航海をしてきています。テレビ会議システムZoomを活用した新たな会議様式であるハイブリッド会議、ソーシャルディスタンスを十分に確保した会場設営。順調な航海に戻るまで、まだまだ試練は待ち受けていますが熊本丸は転覆することなく目的地に確実に向かっています。

そんな中、本年も7月通常総会にて次年度理事長予定者、次年度副理事長予定者、次年度室長予定者、次年度専務理事予定者、次年度監事予定者が承認され、また新たな目的地へ向け出港する準備が着々と進んでおります。

10年指針ゆめのかたち完結の年、また、来年は60周年を控えておりこの航海も容易なものとはなりません、しっかりと準備、心構えをもって航海をしていきます。

来月8月通常総会では理事メンバーも決まり次年度モードへと徐々になっていきますが、本年は本年！12月31日までしっかりと熊本丸を運行していきますので、今後ともご支援いただきますようよろしくお願い致します。

次年度理事長予定者

成富 康裕 君

次年度副理事長予定者

古舘 剛 君

次年度室長予定者

大崎 翔太 君・玉置 大輔 君・濱 拓郎 君・宮丸 圭祐 君

次年度専務理事予定者

吉岡 倉佑 君

次年度監事予定者

伊藤 正一郎 君・松下 啓 君

佐賀ブロック親睦ゴルフコンペ

～2021年7月25日(日)～



第1回佐賀ブロック親睦コンペが、7/25佐賀大和不動産カントリークラブにて開催されました。コロナ禍で何か交流ができないかと模索し昨年より計画し、実現に至りました。記念すべき第1回は唐津JCじゃがいも幹事会が運営の中心となり、佐賀県各LOMより約40名の参加となりました。炎天下の中で大いに盛り上がり、今まで交流のなかったメンバー同士の友情が芽生えるコンペとなりました。今後第2回も開催される予定です。

会員会議所会議 i n 唐津

～2021年7月26日(月)～



大手口センタービル3階会議室にて佐賀ブロック協議会会員会議所会議が開催されました。今回の会員会議所会議でブロック大会議案が無事審議通過し、9月23日(木)伊万里の地で開催されるようになりました。また、当LOMから出向しております、アカデミーLOM支援委員会委員長玉置奈実子君の議案も上程され、第3回アカデミー事業に向けて答弁をされてました。今後、佐賀ブロックでも、ブロック大会、アカデミー事業など多く開催されますのでご参加、ご協力のほどよろしくおねがいします。

愛に満ちた利他の精神で愛が溢れる未来へ

祝!!! 育LOM認定

育LOM認定書

Certificate

一般社団法人 唐津青年会議所 殿

(認定No.076)

貴LOMは、メンバーのJCライフバランスの向上につとめ、多様なライフステージにあるメンバーの誰もが活躍できるLOM環境の積極的な取り組みの推進が認められました。よって、ここに「育LOM」として認定します。

2021年 7月 9日

公益社団法人 日本青年会議所 第70代会頭

家庭も育児もJCも全力宣言!

本年、年当初より取り組んでおります、公益社団法人日本青年会議所が推進する育LOMにおいて、全国691LOM中76番目で唐津青年会議所が認定を受けることが出来ました。何事も続けることが大切で、続けなければ意味がない認定です。しっかりと次年度へ引継ぎ、結婚や妊活、育児や家事などに積極的に参加しながらも、メンバーの誰もが活躍できる唐津青年会議所を目指し邁進していきます。

ゆめのかたちアーカイブ

～2020年7月掲載記事～

令和2年7月豪雨災害復旧ボランティア及び支援金募集

唐津青年会議所の有志が7月19日、豪雨災害の爪痕が残る佐賀県太良町にてボランティアに参加いたしました。大塚立規理事長ら約20名が参加し、作業服やトレーニングウェアを泥だらけにして、浸水した住宅に堆積した泥をかき出したり、生活再建の助けとなっている被災ゴミを運び出したりしました。

佐賀県の7月22日時点のまとめでは、7月上旬から続いた雨により県内で3件が全半壊、8件が一部損壊、浸水被害は207件、各地で土砂崩れや冠水被害が起き、農林水産関連の被害総額は26億円、公共土木施設は20億円、商工被害は6億4千万円にも上る。中でも県南部の被害が深刻で、太良町では3人けがをした。

コロナ禍での異例の活動となり、被災地の近隣地域の参加などが条件となっている地域もある。また地元住民から飲み物を受け取り笑顔を見せる参加者の姿もあった。

令和2年7月豪雨災害に際しての様々なニーズにお応えができる支援活動を行うべく、公益社団法人日本青年会議所より支援金のお願いがきております。

一般社団法人唐津青年会議所としても支援金の募金活動を行い被災地への助けになればと考えておりますので、皆様のご協力をよろしくお願い致します。

- 支援金募金受付期間 2020年7月27日(月)～2020年8月31日(月)
- 支援金募金箱設置場所 一般社団法人唐津青年会議所 事務局
- 支援金使用目的 被災地への支援 (公益社団法人日本青年会議所へ)



あの頃を振り返ってみて・・・

2020年度まちづくり委員長 吉岡 倉佑 君

2020年度まちづくり委員会では、唐津市及び近隣市町村での災害発生時に、災害支援ネットワークを利用し相互支援の円滑化を推進、そして避難所などへの直接的・間接的な支援を唐津青年会議所として行う際の初動を早めるため、延いては地域の防災・減災をはじめとした防災意識の向上のため、災害対策組織を設置する必要があると考え年当初、災害対策組織図を提案し理事会の承認を得ました。緊急事態宣言が発令中の4月24日、唐津青年会議所では新型コロナウイルス感染症拡大の影響を災害と捉え、理事長の判断により災害対策本部を立ち上げ、唐津市役所総務部危機防災管理課、唐津市社会福祉協議会に連絡し、現状把握を行いながら、テレビ会議システム等を活用し会議を開催し活動を行いました。

7月には佐賀ブロック協議会を通じて九州各地で豪雨によって被災された方への支援物資提供の依頼と、太良町における災害復旧支援ボランティア人的支援要請がありました。当委員会では急を要する物資及び参加者の取りまとめに災害対策組織図を利用して行えたことで、常日頃の備えが相互支援の円滑化に繋がることを再認識しました。災害対策本部の活動において、速やかに現状を把握し、急激な社会情勢の変化に対応する必要があります。そして、災害発生時においても安心して暮らせる「明るい豊かな社会」を築くためには、一人ひとりが災害に対する当事者意識と利他の精神を持ち続けることが必要不可欠と強く感じました。

姉妹締結50周年特集

姉妹締結50周年特集記事6月号の内容につきまして、お詫びと訂正。



姉妹締結50周年特集記事6月号の岩本亨OBへのインタビュー記事において下記の誤りがありました。

〈修正内容〉

中段の「麗水交流のなかで一番良かった経験・思い出は」という質もに対し姉妹締結前に韓国へ視察に行ったエピソードを語っていただきました。その際の参加メンバーの表記を「岩本亨OB、大河内明彦OB、加茂宏OB」と表記していましたが、正しくは「岩本亨OB、江頭紘一OB、加茂宏OB」になります。

(正)

姉妹締結前に韓国へ視察に行ったこと。当時、私と江頭紘一君と加茂宏君の三人で韓国に行きました。当時は韓国国内に日本人がいるのは珍しく移動しているだけで注目を集めていました。言葉も話せない中、釜山から汽車やバスを乗り継いで約10時間くらいかけて麗水まで行ったのはまさに冒険のようでしたよ。

(誤)

姉妹締結前に韓国へ視察に行ったこと。当時、私と大河内明彦君と加茂宏君の三人で韓国に行きました。当時は韓国国内に日本人がいるのは珍しく移動しているだけで注目を集めていました。言葉も話せない中、釜山から汽車やバスを乗り継いで約10時間くらいかけて麗水まで行ったのはまさに冒険のようでしたよ。

関係者の皆様、そして読者の皆様に正確な情報をお伝えできていなかった点を訂正してお詫び申し上げます。

姉妹締結50周年特集記事番外編 「第一回麗水訪問団」

2021(令和3年)7月27日(水曜) 発行

唐津JC国際交流

第一回麗水訪問団

開拓者たち

第一回麗水訪問団の訪問主旨

唐津市、麗水市相互の親善交流を深める。すでに友好関係にある両市商工会議所、姉妹結緑の両商工会議所の実情を汲み、更に両青年会議所が青年会議所が青年会議所の精神にのっとり、人類愛と世界平和を基調とした主旨をもって初期の目的を達成するため交歓と調査を行う。

又現地の人間性、風土を知ること。公式訪問団として唐津青年会議所の実情を伝える。

第一回麗水訪問団の訪問時期

昭和46年2月4日～2月6日

訪問メンバー

- ・ 直前理事長 岩本亨
- ・ 国際関係委員会 副委員長 江頭紘一
- ・ 国際関係委員会 委員 加茂宏

第一回麗水訪問団報告書 (岩本亨OB保管資料)

麗水第一回麗水訪問団の訪問目的

- ① 姉妹締結調印式に関する会議を行い、麗水青年会議所会員の意識度確認及び事業その他資料収集を行う。
- ② 公式訪問団として記念品、各種メッセージの伝達を行う。
- ③ 釜山青年会議所訪問(福岡青年会議所関係)